

年 組 名前：

畜産に「福祉」認証制度 県が全国初 ブランド化

山梨県は本年度、鶏や牛などの家畜を健康的な良い環境で飼う「アニマルウェルフェア」の認証制度を創設する。県によると、自治体が独自にアニマルウェルフェアの認証制度を設けるのは国内初。県内畜産物の付加価値を高め、ブランド化を支援する狙いがある。

県農政部によると、アニマルは動物、ウェルフェアは福祉や幸福を意味し、「動物福祉」と訳される。ヨーロッパを中心に広がっている考え方で、鶏を地面に放して飼う「平飼い」や、牛の放牧などが該当する。世界的な大手食品メーカーでは、アニマルウェルフェアに基づいて生産された商品を優先して使うとする動きが広がっている。

認証を希望する農家は、県主催のアニマルウェルフェアに関する研修に参加。県が基準に則した飼育に取り組んでいることを確認し、認証する。認証を受けた農家は認証シールを出荷する畜産物に掲示できる。

農林水産省の統計によると、2018年の県内畜産物の産出額は77億円で全国42位。大規模農家が少なく、小規模が大半を占めることが背景にあるという。ただ、既に平飼いや放牧などに取り組んでいる農家がいることから、認証制度の導入でブランド化を支援することにした。

県は5月に県畜産課の担当者や専門家らでつくる検討委員会を設置し、認証制度の要項や要領を作成する方針。制度は秋ごろまでに導入する。同課の担当者は「アニマルウェルフェアは世界的に広がっている考え方で、日本でも今後さらに注目されるはず。認証制度を通じて畜産農家を支援したい」と話している。

〈山本昂輝〉

(2021年4月25日付 山梨日日新聞1面)

問1 県は本年度、「アニマルウェルフェア」認証制度を創設します。どんな狙いがありますか。

問2 「アニマルウェルフェア」とは、どういう考え方ですか、具体的に書いてください。

問3 「2018年度の県内畜産物の産出額は①億円で全国②位。③が少なく、④が大半を占めていることが背景にあるという」。①～④に数字や言葉を入れてください。

①「 億円」 ②「 位」 ③「 」 ④「 」